※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「物語・和歌・随想・日記」　（文英堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、古文の言葉やきまりについての基本事項を学びつつ、古文のさまざまな文学作品に触れ、古文への理解を深めていきます。
・古文の作品を通して、現在の私たちと古文の世界との相違点を意識しながら、日本史など科目横断的なつながりを学びます。
・文法事項や口語訳のみの勉強に終始せず、自ら興味を持ちながら作品を学びましょう。

2　学習の到達目標

幅広い教養を身につけ、古典に関する学習の広がりを持たせる。古典の読解力を伸ばし言語感覚を磨きたい生徒、及び、古典文学の知識をより深く身につけようとする生徒を対象に古典文法の学習は最小限におさえ、数多くの文章を読んでいくことを目的とする。

⑴古語の意味や古典文法、古典常識についての知識を理解し、古典文学を読むことができる。
⑵古典文学を適切に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだり比較したりして、自分の考えを深め発展させる。
⑶古典文学への関心を持って広く深く文学作品を解釈することを通して自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、豊かな人間性を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	伝奇物語を読み、登場人物の心情や人物像を読み取る [教材]「竹取物語」 貴公子の求婚 難題提示 子安貝	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート
	伝奇物語を読み、登場人物の心情や人物像を読み取る [教材]「落窪物語」 生ひ立ち 三日の夜	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート
	歌物語における和歌の役割や修辞法を理解する [教材]「大和物語」 生田川	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。	定期考査 小テスト ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート
2学期	伝奇物語を読み、登場人物の心情や人物像を読み取る [教材]「落窪物語」 典薬助 姫君の失踪	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート
	随筆を読み、筆者の感性を読み味わう [教材]「枕草子」 上に候ふ御猫は	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート
3学期	歌物語における和歌の役割や修辞法を理解する [教材]「伊勢物語」 小野 さらぬ別れ	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。	定期考査 小テスト ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※令和４年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間